

奈良市公民館運営審議会会議録

令和3年3月22日会議

令和2年度第1回奈良市公民館運営審議会会議録

開催日時	令和3年3月22日(月) 午前10時30分から正午まで	
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室	
議 題 又は 案 件	1 新役員選出 2 令和元年度公民館事業の実施状況及び利用状況について 3 令和2年度公民館事業の進捗状況について 4 コロナ禍における奈良市公民館の動きについて(報告) 5 コロナ禍における今後の奈良市公民館のあり方について 6 その他	
出席者	委 員	虎杖委員、今西委員、岩永委員、権藤委員、杉山委員、野田委員、 橋本委員、伏浦委員、福井委員、吉岡委員 【計10人出席】 (植村委員、奥村委員は欠席)
	事務局	教育長(途中退席)、教育部部長、地域教育課課長、地域教育課課 長補佐、生涯学習財団事務局長、生涯学習財団事務局統括主任
開催形態	公開(傍聴人2人)	
決定事項	1 新役員の決定	
担 当 課	教育部 地域教育課	

議事の内容

○【案件1】 新役員選出

虎杖委員が会長に推薦され、承認された。

会長が副会長に今西委員、野田委員を指名し、承認された。

○会議録の署名について

議事に入る前に議長から今回の署名委員の指名及び確認(杉山委員と伏浦委員)。

○【案件2】 令和元年度公民館事業の実施状況及び利用状況について 資料1

生涯学習財団事務局 令和元年度の公民館事業について以下のとおり説明

- 令和元年度は 501 件の主催事業を公民館 24 館で開催した。
- コロナ禍で2月20日から全ての主催事業が中止となったため、資料については、コロナ禍以前の講座ということになる。各館が2つずつ事業を選びすぐり、報告を作成している。
- 西部公民館では、『自分らしく生きる』という講座を開催した。人の数だけある「性」の多様性と、「性」を理由に受ける差別や偏見、当事者の困りごとなどについて、様々な事例から学んだ。また、どんな性のあり

かたも排除されない社会になるよう関心を深めるため、当事者の体験談を聞いた。公民館では LGBT などの現代的課題に関する取り組みにも力を入れており、西部公民館では毎年開催している。

- 三笠公民館では、『スポーツから見るおとこ&おんな』という男女共同参画に関する講座を開催した。オリンピック(スポーツ)の観点から、改めて性別間・対人関係における相互理解を深める機会として実施。
- 春日公民館では、『親子で作ろう！ピタゴラ装置』という講座を、親子のコミュニケーションを図ることを目的に、全2回開催した。公民館では、親子で一緒に取り組む機会を増やそうと、家庭教育の講座にも力を入れている。実際に作成したピタゴラ装置はインターネット(YouTube)で見ることができ、当財団 HP の春日公民館「こんな講座ありました」にて紹介している。
- 二名公民館では、二名中学校区地域教育協議会が主催する「さわやかクリーンデイ」と同日に『100 人絵本とカラフル市』を開催。二名中学校と対面に建つ立地を生かした事業であり、自主グループや地域住民が手作り小物や料理を販売した。また、中学生が公民館側の手伝いをしたりと、学校と公民館で作る一体感が相乗効果を生んだ。
- 月ヶ瀬公民館では、『ヘルシー！美味しい～鬼ゆずのピールづくり～』という事業を行った。地域の特産品でありながら、食べ方や効能があまり知られていないため、十分に消費されていない鬼ゆずの特性を学び、手軽に美味しく食べられるピールを作った。月ヶ瀬公民館など東部地域の公民館では、地域の活性化に貢献したいということで、特産品を取り上げたり、地域の方を講師として迎えて活躍してもらう講座にも重点的に取り組んでいる。

【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ♧:回答

委員 ◆ 春日公民館『親子で作ろう！ピタゴラ装置』事業については、どのような形で YouTube にアップロードされているのか。

生涯学習財団事務局 ♧ 奈良市生涯学習財団として YouTube のチャンネルを持っており、各公民館から希望がある場合、そのチャンネルから動画をアップロードしている。

○【案件3】 令和2年度公民館事業の進捗状況について 資料2

生涯学習財団事務局 令和2年度公民館事業の進捗状況について以下のとおり説明

- 令和2年度はコロナ禍ではあるが、休館が明けてから各公民館が工夫してなるべく中止することなく延期という形で取り組んでおり、今もたくさん公民館が主催事業を開催している。その中で特色のある事業を5

つの視点で報告する。

- 女性の活躍を支援する取り組みとして、生涯学習センターと三笠公民館での事業を紹介。女性学級等、女性を対象とした講座は多くあるが、この2つは子育てを終えられる40代50代やもう少し若い世代の女性の活躍をサポートするためのキャリアデザインや、個性や能力を十分に発揮して輝けるようにと、開催した。
- コロナ禍での取り組みとして、富雄公民館では、『感染症のウソ？ホント？』という講座を開催。富雄地域にある奈良西部病院の医師を講師に招き、新型コロナウイルスだけではなく、様々な感染症について“ホント”のことを学び、講座の後半は座談会形式で受講者の疑問に答えた。
- 生涯学習センターでは、『ウィズコロナ！夫婦で人生をより豊かに』という講座を開催。「夫源病(ふげんびょう:夫が原因となって妻の体や心が不調になる病気)」の命名者である医師を招いた。コロナ禍において、在宅勤務のストレスなどで夫婦関係が悪化し、離婚を考える人が増えて「コロナ離婚」とも言われていることから企画。長い人生を共に生きるパートナーと穏やかに支え合えるように、また夫婦関係の改善や夫源病の予防に役立てるため、夫源病について詳しく学んだ。
- 南部公民館では、『心の免疫力アップ～気持ちを整える習慣づくり～』という講座を開催。自分自身のストレスをしっかりとケアして、心も身体も元気になるため、臨床心理士の資格を持っているカウンセラーを招き、ストレスについて学んだ。
- その他、コロナ疲れに効く体操教室や免疫力を高める講座など、コロナ禍での主催事業を模索しながら開催。
- 地域資源を活用した地域活性化の取り組みとして、大正から昭和にかけて奈良市街地から田原、田原地域から都祁地域を結んでいたロープウェイ「奈良安全索道」について田原公民館と都祁公民館で力を入れて取り組んでいる。基壇の見学や当時運ばれていた凍豆腐作りを体験するなど、色々な切り口で「奈良安全索道」を活用した地域活性化の取組みを行った。
- 他団体との協働による、青少年への取り組みとして、『子ども奈良CITY』を今週末に開催予定。ドイツで開催されている「ミニ・ミュンヘン」をモデルとした、子どもが社会の仕組みを楽しく学ぶイベント。コロナ禍で密を避けるため、100人定員(昨年度は1日当たり300人募集)で2日間開催。大変期待の高いイベントで、600人を超える申し込みがあった。また、『「子ども奈良CITY」リーダー作戦会議』は『子ども奈良CITY』を開催するために子どもたち53人が当日に向けた準備を1月から重ねている。定員は30人であったが、全員当選とし、力を入れて取り組んでいる。
- 奈良県公民館連絡協議会「地域課題の解決を目指すモデル公民館

等プロジェクト事業」として、田原公民館にて『田原まち創り講座～竹の再生～』という講座に取り組んでいる。東部山間地域を中心に放置竹林が増えていることから、竹を地域資源として活用し、地域課題を解決するため、NPO 法人加茂女の理事長やバンブーライフ・アグリの代表を講師に迎え、今年度と来年度の2年間で取り組む。

【質問・意見等】 ♪:意見 ◆:質問 ♧:回答

委員 ♪ 閉館中も積極的に地域に向けて公民館だよりを発信し続けたり、館の外に新型コロナウイルスに負けないよう応援メッセージを掲げたりなど、館の機能を止めずに創意工夫されていたことに元気をいただいた。

委員 ◆ 「奈良安全索道」の活動は屋外での活動か。

生涯学習財団事務局 ♧ 実際に現在残っている基壇や石碑を見学して回るなど、屋外で開催した。また、山添村の大和高原文化の会が作っている索道の模型(ジオラマ)を見たり、凍豆腐を作ったり、当時を知る方から思い出を語ってもらったりするなど、屋内での講座も開催している。

委員 ♪ 屋外を活用した活動はコロナ禍で密を避けるという意味でも非常に大きな効果があると思う。尚且つ、コロナ禍でなかなか遠出ができないため、周辺の地域でも楽しむことができれば、特別な感覚になると思う。

委員 ◆ 「奈良安全索道」の活動は継続されるのか。単発的な活動か。

生涯学習財団事務局 ♧ 人気の講座でたくさんの申し込みがあるため、令和3年度も継続して開催する予定である。

委員 ◆ 「奈良安全索道」の活動における申込人数と参加者数は何名か。

生涯学習財団事務局 ♧ 現在、集計結果を持ち合わせていないため、次年度の公民館運営審議会にて報告させていただく。

○【案件4】コロナ禍における奈良市公民館の動きについて **資料3、別紙1～5**

事務局 コロナ禍における奈良市公民館の動きについて以下のとおり説明

- 昨年1月中旬以降、日本国内で新型コロナウイルスの感染が確認され始め、2月中旬から全国で患者が散発し、全国一斉学校臨時休業の要請や緊急事態宣言が発出された。そのような状況の中において新

型コロナウイルス感染症拡大防止のため、奈良市における公民館の動きについて報告させていただく。

- 令和2年2月20日より、公民館利用の自粛を求め、令和2年4月10日から令和2年5月31日まで臨時休館とした。しかし、市民に対する学習機会等の提供をできるだけ止めるべきではないという観点から、令和2年6月2日より国の交付金を活用して、サーキュレーターや空気清浄機を備える等、様々な感染対策を取り入れ、利用制限を設けたうえで開館を再開。利用制限は段階を踏みながら、現在に至っている。なお、現時点で公民館活動での、利用者や職員のクラスターは発生していない。
- 臨時休館中には、市民の方々から様々なご意見をいただき、公民館利用を楽しみにされている方が非常に多いことや、市民の方々にはなくてはならないものであることを認識することができた。
- 臨時休館中の公民館使用料については、すべて還付することとし、また感染予防のために施設使用料をキャンセルする場合、すでに納付済みの使用料についても還付することとした。
- 臨時休館及びキャンセルのため、公民館利用者数は大幅な減少となっているが、令和3年2月末には大阪府等に発出されていた、緊急事態宣言が解除されたことにより、公民館活動が活発化し、今後利用者数の増加が見込まれる。なお、利用再開及び利用制限の見直し等については、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長から出されている「別紙2 緊急事態措置の維持及び緩和等に関して」、公益財団法人全国公民館連合会から出されている「別紙3 公民館における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」、厚生労働省が作成した「別紙4 新しい生活様式の実践例」等を参考にしている。

【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ♧:回答

委員 ♡ 臨時休館後再開をする際に、段階的に制限を解除したことは、とても分かり易く良かった。その中でも早く解除してほしいという意見や逆に心配される声もあった。再開した折には、本当に喜ばれて利用されていた。

事務局 ♧ 新型コロナウイルス対策については、財団でも徹底していただき、利用者の方にもかなり心がけていただいたと思う。何より、これまで公民館でクラスターが起きたり感染事例が発生するということがなく、徐々に再開させていただき現在に至っているというのは、現場の職員の方々や利用者の方々のご尽力いただいた成果だと思っている。

委員 ◆ 国の交付金を活用して、サーキュレーターや空気清浄機を備えたとい

うことについて、これからも国の交付金で順次すべての公民館へ行き渡るようにする予定なのか。それともこの件はこれで終わりなのか。

事務局 ☆ 国の交付金を公民館へ活用するということは、これで一旦終了と考えている。しかし、今後も消毒液やその他コロナの動向によって必要なものもあるかもしれないので、財団と相談調整のうえ、できる対応をしていきたい。

委員 ◆ 公民館では、財団事務局で消毒液や除菌シートがある程度ストックされていて、無くなれば取りに行く方法を取っているとお聞きした。分館では指定管理料の中ですべてを賄っているが、財団事務局で分けてもらう、または地域教育課から一斉にいただくということは考えているか。

事務局 ☆ 分館の運営費については、財団ではなく当課で手だてをするべきという認識をしている。今年度保健所から一斉配布される機会が何度かあり、その際には当課の職員が届けていた。基本的には分館の運営費の中でやりくりしていただくことをお願いしたいが、今後も当課としてコロナ対策関係で物品を調達できるように努力はしていきたい。

○【案件5】コロナ禍における今後の奈良市公民館のあり方について

資料4、別紙資料(他市参考)

事務局 コロナ禍における今後の奈良市公民館のあり方について以下のとおり説明

- 令和2年度は、ウィズコロナ・アフターコロナに向けての取り組みとして、安全な活動が行われるよう、国の交付金を活用し空気清浄機やサーキュレーターを設置し、また、団体の利用者同士の接触を必要最低限減らすよう、簡略化することも踏まえて、公民館使用料減免団体の「登録証」を廃止した。
- 令和3年度には、「公民館施設の利用申請方法の改善」と「Wi-Fi 環境の整備」の2項目を新たな取り組みとして進めていく予定をしている。
- 公民館施設の利用申請は、現状、事前に公民館へ直接出向き窓口で使用承認申請を提出し、その場で使用料を納付することとなっているが、今後は、新たにインターネット、メール等により事前に仮申請を行い、利用当日に本申請及び使用料の納付を行うことを考えている。そのため、申請のためだけに公民館へ出向く必要がなくなる。
- インターネット・メールなどの新しい方法での申請と、従来からの窓口での申請を併用していくうえで、公平性をどう保っていくか等の詳細については、公民館職員と意見を出し合いながら現在、検討を進めている。
- Wi-Fi環境の整備については、令和3年度には1次避難所である15館

と2次避難所である9館の公民館全24館および1次避難所の公民館分館3館(精華分館、邑地分館、狭川分館)の合計27館において、Wi-Fi 環境の整備を行う予定をしている。これらの施設はすべて奈良市の避難所に指定されているため、災害発生時の情報伝達手段の確保が必要であり、避難所としての役割も重要となる。Wi-Fi 環境が整備されると、災害時、平時ともに気軽に使える Wi-Fi 環境がお互いの情報のやりとりを促進し、交流を深めることが可能になると思われる。

- 委員の皆さまのご意見の中には、“感染症対策が徹底されていて非常に良かった”“コロナ禍で制限されてしまった地域コミュニティの形成を再構築する取り組みが必要”などコロナ禍で感じた率直な数々のご意見を頂戴した。また、「利用申請方法の改善」や「Wi-Fi環境の整備」については、“早急に実現してほしい”“コロナの有無に関係なく進めていただきたい”といったご意見がある一方で、“トラブルや負担が心配”“「公平性」や「社会教育」の理解とスタンスが問われる”といった慎重なご意見も頂戴した。当課では今後、課題を洗い出したうえで、できる限り早急に進めてまいりたいと考えている。
- ICT 等新しい技術を取り入れていくことにより、特に高齢者などの世代が取り残されてしまう懸念があることについて、今まで、ICT の活用能力を身に付ける機会が少なかった高齢者の方々にも、今後、公民館等でも ICT 技術を基礎から学べる場を提供することが必要だと考えている。また、利用者へのご案内を行う公民館職員のスキルアップも必要である。これからの学びは、「オンラインによる取組」とこれまで培ってきて大切にしてきた取り組みの2本立てにより、更に幅の広い豊かなものにしていくべきと考えている。
- 公民館の使用制限の緩和については、今後の状況が全く不透明であり、現在も飲食を伴う活動はお控えいただいている。新型コロナウイルス感染症はマスクを外して人と人が接触することにリスクを伴うこともあり、保健所からも指導があった。そのため、飲食を伴う活動を緩和するのは時期尚早だと判断し、現在に至っている。いつになったら平時に戻れるのかという点は利用者の方も気になっておられると思うが、今後の状況が全く不透明であるため、今後も引き続きコロナの動向を見守りながら公民館の使用制限の見直しを行っていかうと考えている。
- 他市では、施設としてより幅広く利用していただくために、公民館という看板ではなく、コミュニティセンターという看板で生涯学習や社会教育に関する活動をされていたり、公民館の法解釈を整理して、利用できる範囲の位置づけを見直されている一例もある。

【質問・意見等】 ♡:意見 ◆:質問 ✧:回答

委員

♡ 同時接続がどの程度できるのか、どんな形で環境整備をしていくのか

などを含めて計画をしていく必要がある。

事務局 ☆ 部屋に据え置くタイプのもので環境を整えたいと考えている。また、接続スピードに関してもできるだけ利用者にストレスがかからないようにしたいと考えている。

委員 ◆ Wi-Fi の活用方法やより良い使い方を教えてもらったり学んだりする機会は提供してもらえるのか。

事務局 ☆ 利用者をアシストする方法は今後検討したい。

委員 ♪ 利便性を進めていく一方で、公民館らしさも大事にするべきだと思う。公民館運営審議会委員や各館の利用者との対話の場を設けるなど、導入までのプロセスを大事にしてほしい。

事務局 ☆ 今後、進捗状況の報告を行う予定。これまで培われてきたものは置き去りにすることなく大事にしていきたい。

委員 ♪ 後期高齢者についても置き去りにすることなく配慮をしていただきたい。

委員 ♪ Wi-Fi環境の整備や利用申請方法の改善によって若者が集うようになるとは考え難い。コロナ禍で断ち切られた「集い」をオンラインにてアピールし、若者にアクセスしていくのがいいのでは。

事務局 ☆ 新しいものを取り入れながら、今まで大事にしてきたものを更に引き継ぐことも大事。両立するためには益々工夫が必要。若者も含めて多様な人たちに公民館を使用してもらいたいと考えている。

委員 ♪ 若者だから ICT に強くて高齢者だから ICT に疎いということではない。地区館のあり方としては、対面でのコミュニケーションも大切。

委員 ♪ オンラインの活動はかなり疲れるため、利用者のストレスが溜まらないように、対面との併用をしてほしい。

委員 ♪ Wi-Fi 環境の整備を機に、得意な方と苦手な方、若い方と年配の方が新しい交流を図っていただけると嬉しい。

委員 ◆ コミュニティセンターと現在の奈良市のふれあい会館は同じ意味か。

事務局 ☆ コミュニティセンターはふれあい会館よりも場合によっては幅広い活動ができる施設を指す。公民館は社会教育や生涯学習の拠点となる施設、ふれあい会館は地域のまちづくりや福祉等の施設なので、できる事とできない事の制限がある。施設を有効に活用するためにコミュニティセンター化されている自治体もあるという紹介をさせていただいた。

○【案件6】その他

事務局 令和2年度公民館大会について以下のとおり説明

- 全国公民館研究集会京都大会(令和2年10月23日)
→新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度へ延期
- 第68回奈良県公民館大会(令和2年11月25日)
→新型コロナウイルス感染症の影響により、中止

委員 ● 令和元年度に懇話会を企画させていただいた。来年度以降も、新型コロナウイルス感染症の動向を見ながら、懇話会を企画させていただきたい。

資料

会議次第

委員名簿

令和元年度 公益財団法人奈良市生涯学習財団の取り組みから【資料1】

令和2年度 特色ある事業について【資料2】

コロナ禍における奈良市公民館の動きについて(報告)【資料3】

コロナ禍における今後の奈良市公民館のあり方について【資料4】

奈良市公民館における新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応について【別紙1】

内閣官房 緊急事態措置の維持及び緩和【別紙2】

公民館連合会 感染拡大予防ガイドライン【別紙3】

「新しい生活様式」の実践例【別紙4】

公民館利用者数【別紙5】

ご意見一覧【別紙】

公民館のコミュニティセンター化【他市参考】

物販販売や政治に関する学習会の利用の見直し【他市参考】